

付) 調査票様式

統計的に分析するために、あなたご自身について教えてください。

〔全員にお聞きします〕

F1 あなたの性別を教えてください。（ は1つだけ）

1 . 男 性	2 . 女 性
---------	---------

F2 あなたの年齢を教えてください。（ は1つだけ）

1 . 15 ~ 19 歳	2 . 20 ~ 29 歳
3 . 30 ~ 39 歳	4 . 40 ~ 49 歳
5 . 50 ~ 59 歳	6 . 60 ~ 69 歳
7 . 70 歳以上	

F3 あなたのお住まいの地域は、次のどこにあたりますか？（ は1つだけ）

1 . 五泉地区	2 . 村松地区
----------	----------

F4 あなたの職業を教えてください。（ は1つだけ）

1 . 自営業・家族従事者（農業）
2 . 自営業・家族従事者（商業）
3 . 自営業・家族従事者（工業）
4 . その他自営業（開業医、宗教家、芸術家など）
5 . 勤め人（常勤）
6 . 勤め人（パート、アルバイト）
7 . 内職
8 . 家事専従者（いわゆる専業主婦・主夫）
9 . 学生
10 . 無職
11 . その他（)

F5 あなたは、結婚されていますか？（ は1つだけ）

1 . 結婚している（同棲、事実婚を含む）	F6へお進みください
2 . 結婚したが、離別、死別した	F7へお進みください
3 . 結婚していない	F7へお進みください

〔F5で「1. 結婚している（同棲、事実婚を含む）」と答えた方にお聞きします〕

F6 あなたは、共働きですか、それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか？
（ は1つだけ）

- | |
|--------------------------|
| 1. 共働きしている（パートタイムなどを含む） |
| 2. 夫のみが働いている |
| 3. 妻のみが働いている |
| 4. 夫婦とも働いていない（退職した場合を含む） |
| 5. その他（) |

〔全員にお聞きします〕

F7 あなたには、18歳以下のお子さんがいますか？ （ は1つだけ）

- | |
|-----------|
| 1. いない |
| 2. 1人いる |
| 3. 2人いる |
| 4. 3人いる |
| 5. 4人いる |
| 6. 5人以上いる |

F8 あなたのご家族の構成（同居の家族のみ）は、次のうちどれですか？ （ は1つだけ）

- | |
|-----------------|
| 1. 単身世帯（一人暮らし） |
| 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子（2世代） |
| 4. 祖父母と親と子（3世代） |
| 5. その他（) |

男女共同参画に関する意識などについて、以下の質問にお答えください。

結婚、家庭、人生観などについて

〔全員にお聞きします〕

問1. 家庭や結婚などに対する以下のそれぞれの意見について、どのように思いますか？

あなたの考え方に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

	(はそれぞれ1つずつ)				
	賛成	どちらか たとえば 賛成	どちらか たとえば 反対	反対	わから ない
(1) 男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい	1	2	3	4	5
(2) 男は男らしく、女は女らしくした方がよい	1	2	3	4	5
(3) 男女とも平等に家事をすべきである	1	2	3	4	5
(4) 子どもが小さいときには母親が子育てに専念すべきである	1	2	3	4	5
(5) 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである	1	2	3	4	5
(6) 結婚は個人の自由であるから、人は結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
(7) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
(8) 一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5

〔F5で「1. 結婚している(同棲、事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします〕

問2. あなたの家庭では、以下の家事を、主に誰が分担していますか？

この中からそれぞれ1つずつ選んでください。

	(はそれぞれ1つずつ)					
	夫	妻	子ども	家族 全員	その他 の人	わから ない
(1) 掃除	1	2	3	4	5	6
(2) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(3) 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6

問4へお進みください

〔F5で「2.結婚したが、離別、死別した」か「3.結婚していない」と答えた方にお聞きします〕

問3.以下の家事について、どのように分担した方が望ましいと思いますか？

この中からそれぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	夫	妻	子ども	家族 全員	その他 の人	わから ない
	(1) 掃除	1	2	3	4	5
(2) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(3) 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6

〔全員にお聞きします〕

問4.仕事と家庭生活について、女性の生き方として望ましいと思うのは、どのような生き方ですか？ (は1つだけ)

1. 家庭生活よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる
3. 家庭生活と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、家庭生活を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活に専念する
6. わからない

問5.それでは、男性の生き方としてはどう思われますか？ (は1つだけ)

1. 家庭生活よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる
3. 家庭生活と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、家庭生活を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活に専念する
6. わからない

問6.仕事と地域活動(町内会、PTAなど)について、女性の生き方として望ましいと思うのは、どのような生き方ですか？ (は1つだけ)

1. 地域活動よりも、仕事に専念する
2. 地域活動にも携わるが、仕事を優先させる
3. 地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、地域活動に専念する
6. わからない

問7. それでは、男性の生き方としてはどう思われますか？（は1つだけ）

1. 地域活動よりも、仕事に専念する
2. 地域活動にも携わるが、仕事を優先させる
3. 地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事もするが、地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、地域活動に専念する
6. わからない

問8. 晩婚化が進んでいますが、女性の晩婚化の理由について、どのようにお考えですか？
次の中から3つまで選んでください。（は3つまで）

1. 独身生活の方が自由である
2. 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった
3. 仕事のためには、独身の方が都合がよい
4. 仕事を持つ女性が増えて、女性の経済力が向上した
5. 仕事が忙しすぎる
6. 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい
7. 相手に高望みをしている
8. 社会慣行としてのお見合いが減少し、異性と知り合うチャンスが少ない
9. 異性とつきあうことや対人関係を築くことが苦手な人が増えた
10. 親離れ・子離れができていない
11. 兄弟姉妹の数が減ったことや一人っ子同士が増えたため、婚姻による改姓が障害となっている
12. その他（)
13. わからない

問9. それでは、男性の晩婚化の理由について、どのようにお考えですか？
次の中から3つまで選んでください。（は3つまで）

1. 独身生活の方が自由である
2. 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった
3. 仕事のためには、独身の方が都合がよい
4. 仕事を持つ女性が増えて、女性の経済力が向上した
5. 仕事が忙しすぎる
6. 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい
7. 相手に高望みをしている
8. 社会慣行としてのお見合いが減少し、異性と知り合うチャンスが少ない
9. 異性とつきあうことや対人関係を築くことが苦手な人が増えた
10. 親離れ・子離れができていない
11. 兄弟姉妹の数が減ったことや一人っ子同士が増えたため、婚姻による改姓が障害となっている
12. その他（)
13. わからない

問10．少子化が進んでいますが、出生数が少なくなった理由はどのようなことだと思いますか？

次の中から3つまで選んでください。（は3つまで）

- 1．子どもに教育費がかかるから
- 2．経済的な余裕がないから
- 3．仕事と育児の両立が困難だから
- 4．結婚年齢が上がっているから
- 5．家が狭いから
- 6．育児の心理的、肉体的負担が大きいから
- 7．結婚する人が少ないから
- 8．子どもが欲しくないから
- 9．趣味・レジャーとの両立が困難だから
- 10．未婚で子どもをつくることへの抵抗感があるから
- 11．その他（)
- 12．わからない

問11．老後の生活について、どのような家族形態で暮らしたいですか？

あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。（は1つだけ）

- 1．子どもと同居して養ってもらう
- 2．子どもと同居するが、経済的負担をかけないようにする
- 3．子どもと別居するが、経済的援助を受けて暮らす
- 4．子どもと別居して、経済的負担をかけないで暮らす
- 5．子どもの経済的援助を受けて、老人施設等に入る
- 6．子どもに経済的負担をかけないで、老人施設等に入る
- 7．その他（)
- 8．考えたことがない

職業生活について

〔全員にお聞きします〕

問12．あなたは現在、働いていますか？（学生の方のアルバイトは除いてください）

（は1つだけ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1．働いている | 問13へお進みください |
| 2．働いていない | 問16へお進みください |

〔問12で「1.働いている」と答えた方にお聞きします〕

問13 . あなたが現在働いているのは、どのような理由からですか？

次の中から3つまで選んでください。 (は3つまで)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 . 生計を維持するため | |
| 2 . 家計の足しにするため | |
| 3 . 個人として経済的に自立したいから | |
| 4 . 自分の能力、技能、資格を活かすため | |
| 5 . 視野を広げたり、友人を得るため | |
| 6 . 社会に貢献するため | |
| 7 . 仕事をすることが好きだから | |
| 8 . 働くのが当然だから | |
| 9 . 時間的に余裕があるから | |
| 10 . 家業であるから | |
| 11 . その他() | |
| 12 . わからない | |

問14 . あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ差別されていると思いますか？別にそのようなことはないと思いますか？ (は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 . 差別されていると思う | 問15へお進みください |
| 2 . そのようなことはないと思う | 問18へお進みください |
| 3 . わからない | 問18へお進みください |

〔問14で「1 . 差別されていると思う」と答えた方にお聞きします〕

問15 . 差別されているのは具体的にどのようなことですか？次の中から3つまで選んでください。

(は3つまで)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 . 給与等が低い | |
| 2 . 昇進・昇格が遅い(しない) | |
| 3 . 能力を正當に評価されない | |
| 4 . 補助的な仕事しかやらせてもらえない | |
| 5 . 幹部職員に登用されない | |
| 6 . 結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある | |
| 7 . 定年まで勤め続けにくい雰囲気がある | |
| 8 . 研修や訓練を受ける機会が少ない | |
| 9 . その他() | |
| 10 . わからない | |

問18へお進みください

〔問12で「2.働いていない」と答えた方にお聞きします〕

問16. あなたが働いていないのはどうしてですか?次の中から3つまで選んでください。
(は3つまで)

1. 経済的に働く必要がないから
2. 職業を持たない方が、自分のやりたいことができるから
3. 家にいるのが当然だから
4. 家事の負担が大きいから
5. 育児の負担が大きいから
6. 健康や体力に自信がないから
7. 希望どおりの仕事を得られないから
8. 配偶者や子どもなど家族が望まないから
9. 親や病気の家族の世話をするため
10. 現在、学校に通っているから
11. 高齢だから
12. 働くことに向いていないから
13. 働くことが好きでないから
14. その他()
15. わからない

問17. あなたは将来、働きたいと思いますか? (は1つだけ)

1. すぐにでも働きたい
2. 将来は働きたい
3. 働くつもりはない
4. わからない

問18. 一般的に女性が仕事を持つことについて、あなたはどう思いますか? (は1つだけ)

1. 持たない方がよい
2. 結婚するまでは持つ方がよい
3. 子どもができるまでは持つ方がよい
4. 子どもができてもしっかり続ける方がよい
5. 子どもができたらいったん辞め、大きくなったら再び持つ方がよい
6. その他()
7. わからない

問19．女性が働き続けやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか？

次の中からいくつでも選んでください。（ は、あてはまるものすべて）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 . 給与等の男女間格差解消 | |
| 2 . 育児休業制度の充実 | |
| 3 . 育児休業をとりやすい職場環境づくり | |
| 4 . 育児休業中の給与等の保障 | |
| 5 . 介護休業制度の充実 | |
| 6 . 介護休業をとりやすい職場環境づくり | |
| 7 . 介護休業中の給与等の保障 | |
| 8 . 結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実 | |
| 9 . 総労働時間の短縮 | |
| 10 . フレックスタイム制や在宅勤務の導入 | |
| 11 . 育児施設などの整備 | |
| 12 . 介護施設などの整備 | |
| 13 . （働くことに対する）女性自身の自覚、意欲や能力の向上 | |
| 14 . （女性が働くことに対する）家族や周囲の理解と協力 | |
| 15 . （女性が働くことに対する）男性の意識の変化 | |
| 16 . 女性は家庭を守っていればよいので、必要なことはない | |
| 17 . その他（ | ） |
| 18 . 特になし | |
| 19 . わからない | |

問20．あなたは今後、もっと女性が様々な分野に社会参画を進めた方がよいと思いますか？

（ は1つだけ）

1 . よいと思う

2 . どちらともいえない

3 . よいとは思わない

4 . わからない

問21へお進みください

問22へお進みください

〔問20で「1. よいと思う」と答えた方にお聞きします〕

問21. 今後どのような分野で女性の社会参画が進んだ方がよいと思いますか？

次の中からいくつでも選んでください。（は、あてはまるものすべて）

1. 都道府県知事、市区町村長
2. 国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員
3. 国の省庁、都道府県庁、市町村の役所・役場
4. 大学・研究所などの研究者
5. 弁護士・医師などの専門的職業
6. 農業・漁業などの従事者
7. 運輸・建設業など女性の少ない職場
8. 企業の管理職、労働組合や農業協同組合の幹部
9. 町内会、PTAなどの役員
10. 国連などの国際機関
11. その他（)
12. わからない

〔全員にお聞きします〕

問22. 男性が働き方を見直し、仕事と家庭などの活動を両立するには、どのようなことが必要だと思いますか？次の中からいくつでも選んでください。（は、あてはまるものすべて）

1. 男性が、仕事中心の生き方等を改め、家事などに参加することへの抵抗感をなくす
2. 女性が、男性の家事・育児参加への抵抗感をなくす
3. 家庭で、「家事などは家族みんなで分担するのが当たり前」ということを子どもの頃から教育する
4. 学校で、男女平等意識を育てる教育をする
5. 企業で、男女共に仕事と家庭生活を両立できる職場環境を整える
6. 地域で、男性が家事・育児をしていることに対して偏見の目で見ない
7. 国や地方公共団体で、男女の役割分担意識をなくすための啓発活動を充実させる
8. （男性も）とりやすい育児休業制度の充実
9. （男性も）育児休業をとりやすい職場環境づくり
10. 育児休業中の給与等の保障
11. 育児施設などの整備
12. （男性も）とりやすい介護休業制度の充実
13. （男性も）介護休業をとりやすい職場環境づくり
14. 介護休業中の給与等の保障
15. 介護施設などの整備
16. 総労働時間の短縮
17. フレックスタイム制や在宅勤務の導入
18. 男性は仕事中心で、家庭は女性に任せればよいので、必要なことはない
19. その他（)
20. 特にない
21. わからない

男女の地位の平等について

〔全員にお聞きします〕

問 2 3 .今の日本では、次のような面における男女の地位の平等について、どのように思いますか？
それぞれ1つずつ選んでください。

(はそれぞれ1つずつ)	男性の方が 優遇されて いる	平等である	女性の方が 優遇されて いる	わからない
(1) 家庭の中で	1	2	3	4
(2) 職場の中で	1	2	3	4
(3) 社会習慣(しきたり)について	1	2	3	4
(4) 法律や制度の面で	1	2	3	4
(5) 政治・経済活動の場で	1	2	3	4
(6) 学校教育の場で	1	2	3	4
(7) 地域社会の中で	1	2	3	4
(8) 社会全体でみた場合	1	2	3	4

問 2 4 . 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、必要なことは何だと思えますか？次の中から3つまで選んでください。(は3つまで)

- 1 . 女性も、社会や組織を支える一員であるという認識を持つこと
- 2 . 職場で、女性の能力や考え方を尊重すること
- 3 . 従来、男性がつく職業・女性がつく職業と考えられていた仕事に進出すること
- 4 . 政治の場、公的機関や企業などにおける方針決定の場へ進出すること
- 5 . 技能、技術、資格などの習得・取得により、能力を向上させること
- 6 . 男性が、家事・育児などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
- 7 . 経済的に自立すること
- 8 . 仕事中心の生き方・考え方を改め、仕事と家庭生活のバランスがとれた生き方をすること
- 9 . 家事・子育てや介護などについて、知識や方法を取得すること
- 10 . 家庭で、家事・子育てや教育などを男女で分担すること
- 11 . その他()
- 12 . わからない

男女の人権について

〔全員にお聞きします〕

問 2 5 . あなたは、セクシュアル・ハラスメント(=セクハラ。性的いやがらせ、性的・差別的な言動をいう。)を受けたことがありますか？ (は1つだけ)

- | | |
|--------|----------------|
| 1 . ある | 問 2 6 へお進みください |
| 2 . ない | 問 2 7 へお進みください |

〔問25で「1.ある」と答えた方にお聞きします〕

問26.あなたは、どこでセクハラを受けましたか？次の中から該当するものをすべて選んでください。（は、あてはまるものすべて）

- | | |
|---|---|
| 1. 職場
2. 学校
3. 地域（町内会、PTAなど）
4. その他（ |) |
|---|---|

〔F5で「1.結婚している（同棲、事実婚を含む）」と答えた方にお聞きします〕

問27.あなたは、次のような暴力を配偶者から受けたことがありますか？（は1つだけ）

- | |
|---|
| 1. 身体的暴力のみ
2. 心理的脅迫のみ
3. 性的強要のみ
4. 身体的暴力と心理的脅迫
5. 身体的暴力と性的強要
6. 心理的脅迫と性的強要
7. 身体的暴力と心理的脅迫と性的強要
8. ない |
|---|

男女共同参画社会に向けた法制度等について

〔全員にお聞きします〕

問28.あなたは、次にあげる法律や制度などについてご存知ですか？

それぞれ1つずつ選んでください。

	（はそれぞれ1つずつ）		
	聞いたことがある	内容まで知っている	知らない
(1) 男女共同参画社会基本法	1	2	3
(2) 男女雇用機会均等法	1	2	3
(3) 育児・介護休業法	1	2	3
(4) 五泉市女性行動計画	1	2	3
(5) 五泉市男女共同参画推進審議会	1	2	3
(6) ジェンダー（社会的、文化的性別）	1	2	3
(7) ドメスティック・バイオレンス （配偶者等からの暴力）	1	2	3
(8) ポジティブ・アクション （積極的格差是正措置）	1	2	3
(9) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ （性と生殖に関する女性の健康と権利）	1	2	3

問 29 . 五泉市では、合併以前より男女共同参画に関する基本計画を策定し、様々な施策を実施してきました。この計画は今年度で終了し、平成 19 年度から新しい計画に生まれ変わります。あなたは、今後、市がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか？
次の中から該当するものをすべて選んでください。（ は、あてはまるものすべて）

- 1 . 男女共同参画の視点に立った社会制度及び慣行等の見直し、意識の改革
- 2 . 家庭における個人の自立へ向けた意識啓発
- 3 . 男女共同参画社会への男性の理解促進
- 4 . 男女共同参画社会への女性の理解促進
- 5 . 家事、育児、介護等への男性の参画促進
- 6 . 学校等における男女平等教育の推進
- 7 . 暴力など女性に対する人権侵害を根絶するための支援、啓発
- 8 . 性と生殖に関する女性の健康と権利に関する認識の啓発
- 9 . セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進
- 10 . 企業、団体、学校、地域等における方針決定の場への女性の参画促進
- 11 . 地域活動への男女共同参画の促進
- 12 . 女性の人材育成のための能力開発機会の充実
- 13 . 就業における均等な機会と待遇の確保
- 14 . 職業生活と家庭生活の両立を可能にする子育て環境等の整備
- 15 . 出産・育児等により退職した方の再就職支援
- 16 . 働き方の見直し、多様な生き方への支援
- 17 . その他（)
- 18 . わからない

ご意見・ご要望等

〔全員にお聞きします〕

問 30 . 今後、男女共同参画社会を目指していくには、どのように取り組んでいけばよいか？
ご意見、ご要望、ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

<hr/>

以上で、調査は終わりです。

お忙しいところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

6月19日(月)まで にご返送ください。

お手数をかけますが、よろしく願いいたします。